

視察研修先	公益財団法人日本生産性本部	氏名	壮風会 佐藤政人
視察研修項目	住民福祉の向上と地方議会の政策サイクル		
感想・所見など			
2 / 4 「地方議会議員政策セミナー」			
① 講演「ミライを展望した地方議会の政策サイクル」 大正大学社会共生学部教授 江藤 俊昭			
<p>議会・議員のミライを考える要素として、地方自治の理念である、二元代表制、住民自治の根幹であることを実践する必要がある。そのためには、住民福祉の向上のため、成果まで実践する「政策サイクル」を作り上げる必要がある。そのためにも政治の重要性をしっかりと認識し、自治体経営の決定を議会が行わなくてはならない。</p> <p>これからの議会・議員は、議会自ら政策提言を発信し、政策サイクルが回り出すような活動が必要だ。住民と様々な手法を使い、課題解決の熟議を尽くして、住民にとって身近で無くてはならないものにする必要がある。それを実現するためにも、議員としての資質向上に努める必要を感じた。</p>			
② 講演「コミュニティ自治とミライの議会」 東京都立大学法学部教授 大杉 寛			
<p>コミュニティ自治とは、地域で暮らす人や自治会、各種団体などが協力・連携し、地域のことを主体的に決定しながら、より住みやすい地域を自分たちの手で作り上げていく組織（引用 Google 生成 AI）だそうです。そこで、ミライ議会は「女性」「若者」に開かれ、「人財の好循環」を形成する必要がある。そこで「議会の役割の明確化」を再認識し、これからのコミュニティ自治は、「コミュニティ」と「議会」をつなぐ「人財の好循環」を形成する必要がある。誰もが当事者として、創造的な活動を多世代・他分野間交流・連携を実現させるためにも、議員は、コミュニティリーダーとして、先導・伴走・媒介役として次代に引き継ぐ役目がある。</p>			
③ 実践報告「議会は住民自治のプラットフォーム」 兵庫県西脇市議会議員 林 晴信			
<p>「定数削減の声は議会不信のしるしだ！」この思いから議会改革が始まっている。議会活動を企業活動と捉え、良い政策（商品）は良い議会制度（プロセス）から生まれると考え活動している。そこで必要となるのが、政策サイクルの循環、重要事業の執行を視て、有効だったか診て、次の改善策が見えてくる。この、視て（監視）・診て（評価）・見えて（改善）が議会活動には重要である。また、課題は政策のタネと考え、地域住民の声（タネ）をしっかりと拾い上げて、政策に反映できるよう資質向上が必要である。そのためには地域住民と徹底的に話し合う事が重要で、その時間を惜しんではいけないと感じた。住民自治にとって議会はなくてはならないもので、議会が根幹となって進展していき、地域住民が行き交う土台となる必要がある。</p> <p>最後に、ミライの議会・議員は、住民と共に作り上げるもので、それを実現するためにも、今こそ改革が必要であることを実感した。</p>			

様式第2号

視察研修先	農林水産省	氏名	壮風会 佐藤政人
視察研修項目	地方の持続可能な農業について		
<p>感想・所見など</p> <p>2 / 5 「地方の持続可能な農業について」  農林水産副大臣 衆議院議員 鈴木 憲和</p> <p>国会開会中にも関わらず、お時間をいただき寒河江市の現状と課題等について意見交換を行った。その中で、地方の持続可能な農業について、島根県などの事例などを紹介していただきながら、本市に可能な施策などのアイデアなどもいただいた。また、国の政策などの動向等も教えていただき、長時間にわたり研修していただいた。</p> <p>本市も農業が基幹産業である以上、しっかりと取り組んでいく必要があるが、集落の維持も重要課題であることも話題として出て、農村部の生活環境を農林分野からどのように維持できるかを調査研究する必要があるのではないかと思った。</p> <p>最後に、本市の中山間地域の農業がどんどん衰退している中で、どのような施策ができるのか大いに勉強の余地があることを改めて思い直した。</p>			